

2017年8月17日

国連責任投資原則（PRI）の年次評価における最高評価「A+」の獲得について

～ 「戦略とガバナンス」部門は、3年連続で「A+」を獲得、
「上場株式（直接運用）における ESG 統合」部門は、2年連続で「A+」を獲得 ～

ニッセイアセットマネジメント株式会社（社長：赤林富二、以下「当社」）は、国連責任投資原則※1（以下「PRI」）による2017年の年次評価において、昨年に引き続き、ESG運用に関する方針や体制を評価する「戦略とガバナンス」部門、及び上場株式におけるESG要素の財務分析への組み入れを評価する「上場株式（直接運用）におけるESG統合」部門で、最高評価「A+」を獲得しました。

なお、「戦略とガバナンス」部門は3年連続、「上場株式（直接運用）におけるESG統合」部門は2年連続での「A+」獲得になります。

「PRIの年次評価」とは、PRIに署名する機関投資家を対象に、PRI事務局が責任投資の実施状況等について評価したものであり、評価結果は6段階（A+、A、B、C、D、E）で付与され、「A+」がグローバルの最高評価となっています。

当社は、資産運用の調査・投資判断においてESGにかかわる課題を適切に考慮することが、長期的な投資収益の改善のみならず、資本市場の健全な発展と持続可能な社会の実現にも貢献するものと考えています。2008年に国内株式へのESGレーティング※2の付与を開始して以来、ESG運用に注力してきました。今回の最高評価獲得は、こうした取り組みを積み重ねてきた結果であると考えています。

今後とも、機関投資家としての社会的責任を果たすため、ESG運用の更なる高度化に向けた不断の努力を続けてまいります。

※1 国連責任投資原則（PRI:Principles for Responsible Investment）とは、国連の提唱により2006年に策定された、環境・社会・企業統治（ESG）における諸課題を投資の意思決定プロセスに反映させること等を定めた原則。当社は2006年に同原則に署名。

※2 企業のESG取組に対し「企業価値につながるか否か」の視点から当社独自のレーティングを付与。

以上